

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 11 月 23 日  
東京電力株式会社

## <タービン建屋地下のたまり水の処理>

### 高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

#### [処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。
- ・11/23 9:56 淡水化装置(逆浸透膜型)2のNo.2ユニットにおいて、処理水圧力高の警報が発生し、当該ユニットによる処理が自動停止。原因については調査中。  
本ユニットにて、11/18に同事象が発生しているが、11/22の現場確認において外観等に異常がないことを確認したことから、同ユニット出口側のドレンラインの排水を行い、処理水圧力が高いことを示す警報を解除し、11/22 14:00に同ユニットを起動し、運転状況を確認していたもの。
- 11:58 淡水化装置(逆浸透膜型)3のNo.1ユニットを起動。
- ・11/23 12:15頃 停止中の淡水化装置(逆浸透膜型)1A,1Bユニットを通水確認のために起動したところ、これらのユニットの出口側の配管が損傷し、処理水が堰内に漏れいしていることを確認したため、同装置を停止。その後、漏れいは停止(漏れい量は1A:約14リットル、1B:約15リットル)。なお、淡水化処理した水は十分であることから、原子炉注水への影響なし。

#### [貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

## トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元 移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・11/10 9:10～ 移送実施中
3号機	・3号機タービン建屋 集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・11/15 9:25～ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋 仮設タンク	・11/23 移送予定なし

移送先	移送先の水位状況 (11/23 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位:O.P.+ 1,812 mm(水位上昇累計:3,029 mm) 11/22 7:00 から 30 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)	水位:O.P.+ 1,985 mm(水位上昇累計:2,711 mm) 11/22 7:00 から 27 mm 下降

## トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (11/23 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. <+ 850 mm (11/22 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,807 mm (11/22 7:00 から 35 mm 上昇)	O.P.+ 4,249 mm (11/22 7:00 から 43 mm 下降)
2号機	O.P.+ 3,036 mm (11/22 7:00 から 17 mm 下降)	O.P.+ 3,047 mm (11/22 7:00 から 18 mm 下降)	O.P.+ 3,159 mm (11/22 7:00 から 14 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,279 mm (11/22 7:00 から 18 mm 上昇)	O.P.+ 3,055 mm (11/22 7:00 から 20 mm 上昇)	O.P.+ 3,263 mm (11/22 7:00 から 23 mm 上昇)
4号機	-	O.P.+ 3,047 mm (11/22 7:00 から 5 mm 上昇)	O.P.+ 3,068 mm (11/22 7:00 から 13 mm 上昇)

- [3号機]・11/21 10:22～ 復水貯蔵タンクからタービン建屋地下への溜まり水の移送を開始。

## <放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値) 10/24 採取分より、放射能濃度の検出限界値を下げる取り組みを開始。

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約30m	11/22	8:45	ND	0.06	0.05
福島第一 1~4号機放水口南側約330m	11/22	8:20	ND	0.02	0.02
福島第二 1,2号機放水口南側約7km	11/22	7:55	ND	0.02	0.02

・その他、11/22に採取した福島県沿岸1地点および11/21に採取した沖合6地点おける主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)については全てND。

## <使用済燃料プールの冷却> (11/23 11:00時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22~)	17.0
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21~)	17.7
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33~)	18.2
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08~)	25

[2号機]・11/6~ 使用済燃料プール放射性物質除去装置の運転を開始。

[6号機]・11/15~ 取水路ポンプ室底部に堆積した砂等の吸い込みによるポンプ性能低下の防止を目的とした清掃作業に伴い、6号機残留熱除去系(A)ポンプを停止し、原子炉の冷却を停止。6号機補機冷却海水系(A)ポンプを停止し、使用済燃料プールの冷却を停止。なお、冷却停止予定時間は毎日7:00~17:00頃で、1日あたりの6号機原子炉水温度の上昇は約12℃、使用済燃料プール水温度の上昇は約3℃の見込み(作業期間は1週間程度を予定)。

## <原子炉圧力容器への注入・原子炉の状況> (11/23 11:00時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉圧力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約5.5 m <sup>3</sup> /h)	38.4	39.6	118.8 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約2.9 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約7.1 m <sup>3</sup> /h)	64.1	66.8	109 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約2.3 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約8.2 m <sup>3</sup> /h)	57.7	66.7	101.5 kPaabs

[4号機][5号機][6号機] 特に変化なし。

## <その他>

- ・10/7~ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。
- ・11/22 2号機原子炉格納容器ガス管理システムの気体のサンプリングを実施。その後、分析の結果、原子炉格納容器ガス管理システム入口でXe-135が検出限界値(1.1×10<sup>-1</sup>Bq/cm<sup>3</sup>)未満であり、再臨界判定基準である1Bq/ccを下回っていることから再臨界していないと判断。なお、Xe-135については、これまでにチャコールフィルタにて検出(自発核分裂と判断)されたことから、「福島第一原子力発電所1~4号機に対する「中期的安全確保の考え方」に基づく施設運営計画に係る報告書(その1)(改訂)(11月9日公表)」にて、再臨界判定基準としてガス管理システムの入口におけるガスバイアル瓶によるサンプリング結果を用いて判断することとしております。  
検出限界値 チャコールフィルタ:10<sup>-6</sup>レベル、ガスバイアル瓶:10<sup>-1</sup>レベル

以上